

志願者(1)～(7)

教務部
記入欄

郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
東日本大震災授業料等減免申請書(様式1)

(西暦) 年 月 日

学校法人郡山開成学園理事長 関口 修 殿

私は、今般「郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部東日本大震災授業料等減免」を申請します。下記の記載内容に相違ありません。

申請者	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	昭和・平成 年 月 日	
	住所	〒 電話 ()			
	志望 学科	郡山女子大学大学院 ()課程() 郡山女子大学家政学部 ()学科 郡山女子大学短期大学部()学科 郡山女子大学短期大学部専攻科()専攻			
保証人	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	大正・昭和 年 月 日	
	本人との続柄	() ※保護者の場合のみ	職業 勤務先		
	住所	〒 電話 ()			
被災状況(該当する項目に☑)	(1) 家計支持者(家計維持者)が死亡した方、または行方不明となっている方				
	(2) 家計支持者(家計維持者)が失職している方				
	(3) 家計支持者(家計維持者)が2名で、そのうち1名が失職している方				
	(4) 家計支持者(家計維持者)が長期入院している方				
	(5) 自宅が全壊または流出した方				
	(6) 自宅が半壊した方				
	(7) 自宅が平成23年度指定の原発事故警戒区域内(20キロ圏内)ならびに計画的避難区域内にある方				
被災概要					

※保証人は保護者としますが、事情によっては第三者も可とします。

※減免支援基準は「郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部東日本大震災授業料等減免支援規程」によります。

※本制度は国(文部科学省)の私学助成関係予算のうち、私立大学等経常費補助に係る予算措置(復興特別会計)に基づき実施しているものであり、この措置の終了年度である2020年度をもって本制度も終了する予定です。

志願者(8)

教務部
記入欄

郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
東日本大震災授業料等減免申請書(様式2)

(西暦) 年 月 日

学校法人郡山開成学園理事長 関口 修 殿

私は、東日本大震災により、家計支持者が学費を支弁することに困難な所得状況であることから、今般、「郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部東日本大震災授業料等減免」を申請します。

下記の記載内容に相違ありません。

申請者	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	昭和・平成 年 月 日	
	住所	〒 電話 ()			
	志望学科	郡山女子大学大学院 ()課程() 郡山女子大学家政学部 ()学科 郡山女子大学短期大学部()学科 郡山女子大学短期大学部専攻科()専攻			
世帯形態		ふたり親世帯 ひとり親世帯 その他 ※いずれかを○で囲んでください			
家計支持者(保護者)	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	大正・昭和 年 月 日	
	本人との続柄		職業		
			勤務先		
	住所	〒 電話 ()			
家計支持者(保護者)	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	大正・昭和 年 月 日	
	本人との続柄		職業		
			勤務先		
	住所	〒 電話 ()			
被災概要					

※職業欄には、パート、アルバイト、無職の場合もご記入ください。

※被災概要の欄には、被災状況や所得減少の概要について、詳しく記入してください。

※減免支援基準は「郡山女子大学大学院・郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部東日本大震災授業料等減免支援規程」によります。

※本制度は国(文部科学省)の私学助成関係予算のうち、私立大学等経常費補助に係る予算措置(復興特別会計)に基づき実施しているものであり、この措置の終了年度である2020年度をもって本制度も終了する予定です。